

水稻の8月下旬の巡回調査結果の概要

【東北信】 調査日 8月20日、21日、24日、26日

＜東北信地域の巡回調査ほ場：東信15ほ場、北信14ほ場、計29ほ場＞

1 紋枯病

- (1) 発生地点率は、東信地域ではほぼ平年並であり、北信地域では平年と比べ高かった。
- (2) 発病株率は、東信地域では平年と比べやや高く、北信地域では平年と比べ高かった。

2 もみ枯細菌病

- (1) 発生地点率は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ高かった。
- (2) 発病穂率は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ高かった（写真1）。



写真1 もみ枯細菌病（穂枯症）（北信地域）

3 萎縮病

発病は、巡回調査を実施したほ場ではみられなかった。

4 稲こうじ病

発病は、巡回調査を実施したほ場ではみられなかった。
ただし、巡回調査ほ場外のほ場で僅かに発生がみられた（写真2）。



写真2 稲こうじ病（東信地域）

5 縞葉枯病

- (1) 発生地点率は、東信地域ではほぼ平年並であり、北信地域では平年と比べ高かった。
- (2) 発病株率は、東信地域では平年と比べ低く、北信地域では平年と比べ高かった（写真3）。



写真3 縞葉枯病による穂の出すくみ（北信地域）

6 ウンカ類・ツマクロヨコバイ

(1) ヒメトビウンカ

- ア すくい取り調査（ネット20回振）における発生地点率（成虫）は、東信地域、北信地域ともに平年並であった。
- イ 平均捕獲頭数（成虫）は、東信地域では平年と比べ高く、北信地域ではほぼ平年並であった。

(2) ツマグロヨコバイ

- ア すくい取り調査（ネット20回振）における発生地点率（成虫）は、東信地域では平年並、北信地域では平年と比べやや低かった。
- イ 平均捕獲頭数（成虫）は、東信地域では平年と比べ多く、北信地域では平年と比べ少なかった。

(3) セジロウンカ

- ア すくい取り調査（ネット20回振）における発生地点率（成虫）は、東信地域では平年と比べ低く、北信地域では平年と比べやや低かった。
- イ 平均捕獲頭数（成虫）は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ少なかった。

(4) トビイロウンカ

- すくい取り調査（ネット20回振）においては、巡回調査を実施したほ場で成虫の発生はみられなかった。

7 斑点米カメムシ類

- (1) すくい取り調査（ネット20回振）における発生地点率は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ高かった。
- (2) 平均捕獲頭数は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ多かった。
- (3) 斑点米カメムシ類の種類は、アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、ホソハリカメムシの順であった。

8 その他

(1) イナゴ

- ア すくい取り調査（ネット20回振）における発生地点率は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ低かった。
- イ 平均捕獲頭数は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ少なかった。

(2) クサキリ・ササキリ類

ア すくい取り調査（ネット 20 回振）における発生地点率は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ高かった。

イ 平均捕獲頭数は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ多かった。

(3) フタオビコヤガ（イネアオムシ）の幼虫

25 株払落し調査では、幼虫の発生はみられなかった。

【中南信】 調査日 8 月 21 日、24 日、25 日、26 日、28 日、31 日

＜中南信地域の巡回調査ほ場：南信 15 ほ場、中信 17 ほ場、計 32 ほ場＞

1 紋枯病

(1) 発生地点率は、南信地域、中信地域ともに平年と比べ低かった。

(2) 発病株率は、南信地域、中信地域ともに平年と比べ少なかった。このうち、8 月上旬には病斑がみられなかったところ、下旬には上位葉鞘まで進展したほ場もあった。

2 もみ枯細菌病

巡回調査ほ場での発病は確認されなかった。

3 萎縮病

巡回調査ほ場での発病は確認されなかった。

4 稲こうじ病

巡回調査ほ場での発病は確認されなかった。

5 縞葉枯病

南信地域の調査ほ場では確認されなかった。中信地域では 3 ほ場で発病がみられ、要防除の基準*とする発病株率 30% 以上のほ場も確認された（写真 4）。 *令和 4 年度普及技術



写真 4 イネ縞葉枯病による穂の出すくみ、株の枯れ症状（中信地域）

6

(1) ヒメトヒソシカ

ア すくい取り調査（ネット 20 回振：以下同様）による発生地点率（成虫）は、南信地域、中信地域ともに平年並であった。

イ 平均捕獲頭数（成虫）は、南信地域、中信地域ともに平年と比べ多かった。

(2) ツマグロヨコバイ

ア すくい取り調査による発生地点率（成虫）は、南信地域で平年と比べやや高く、中信地域で平年並であった。

イ 平均捕獲頭数（成虫）は、南信地域で平年と比べ少なく、中信地域で平年並であった。

(3) セジロウンカ

ア すくい取り調査による発生地点率（成虫）は、南信地域では平年と比べ低く、中信地域では平年並であった。

イ 平均捕獲頭数（成虫）は、南信地域、中信地域ともに平年と比べ少なかった。

(4) トビイロウンカ

すくい取り調査では捕獲されなかった。

7 斑点米カメムシ類

(1) すくい取り調査による発生地点率は、南信地域、中信地域ともに平年並であった。

(2) 平均捕獲頭数は、南信地域、中信地域ともに平年と比べ多かった。

(3) 斑点米カメムシ類の種類は、アカスジカスミカメが南信地域、中信地域で広く捕獲された。また、アカスジカスミカメ及びホソハリカメムシの成幼虫、クモヘリカメムシ幼虫の発生が特に多いほ場がみられた。

8 その他

(1) イナゴ

ア すくい取り調査による発生地点率は、南信地域で平年と比べやや低く、中信地域で低かった。

イ 平均捕獲頭数は、南信地域、中信地域ともに平年と比べ少なかった。

(2) クサキリ・ササキリ類

ア すくい取り調査による発生地点率は、南信地域で平年と比べやや低く、中信地域で低かった。

イ 平均捕獲頭数は、南信地域、中信地域ともに平年と比べ少なかった。

(3) フタオビコヤガ（イネアオムシ）の幼虫

25 株払落し調査では捕獲されなかった。